

深町どんぐりのもり保育所 若松区

実施内容

活動名称 さつまいもの苗植え・さつまいも掘りをする

取組内容

目的・趣旨

自分たちで野菜を育てながら自然に親しむ。

活動内容

- ・さつまいもの苗を植え大切に育てる。
- ・大切に育てたさつまいもを収穫する。
- ・給食で調理したさつまいもを味わう。

成果

自分たちで野菜を育てることや収穫を楽しみ、それを調理したり食べたりすることにより喜びが増した。

今後の展開

季節に応じて、様々な野菜や植物の栽培や収穫を経験できる場を多くしていく。



NPO法人帆柱自然公園愛護会 八幡東区

実施内容

活動名称 植物観察会

取組内容

目的・趣旨

豊かな自然環境とそれを支える植物達の生態を探る。

活動内容

- ・年間8回、開催月の第1日曜日（コロナと台風で3回中止）
- ・四季折々の植物観察で自然とふれあう。

成果

- ・参加者70名 スタッフ延べ61名
- ・1年間継続された参加者は回を重ねるたびに植物観察のベテランへと成られていった。

課題

新しい植物ウォッチングコースを準備する。



今後の展開

- ・地道な活動を重ねる中で、「自然を愛する心」を広めてゆきたい。

紫川河川塾 小倉南区

実施内容

活動名称 おやし 親父とボクの“うなぎ放流会”in中谷

取組内容

目的・趣旨

- ・地域の大人や子どもに参加していただき、地元の山や川などの自然に触れることにより、自然保護の意識向上を図る。
- ・川と触れ合うことにより、川遊びの楽しさを知っていただくとともに、川遊びの危険も理解してもらう。
- ・川の楽校、山の楽校を開催して、山・川・水の大切さを理解する。

活動内容

紫川上流の旧道原小学校校庭で、うなぎの稚魚約100匹を放流。昼食には中谷地区まちづくり協議会女性部が作った、豚汁・おにぎりを食べた。

成果

中谷地区（すがお小学校校区）の児童、すがお放課後児童クラブ、児童福祉施設双葉学園の生徒、役員を含め約100名の参加となった。放流により、うなぎは増えているようだ。地域の人たちも時折うなぎ取りに行っているようである。



課題

全体としては多くの人に参加していただいたが、地元の児童や大人の方々の参加が少ない。各方面にもっとPRをして、地域をあげての活動にしたい。

今後の展開

うなぎの放流だけではなく、別の行事も行うようにしたい。以前、桜の植樹の行事を行ったが、今ではうなぎの放流会が定着している。2022年はコロナの影響で行事を中止していたが、2023年は行事を再開する予定。

皿倉登山鉄道株式会社(皿倉山) 八幡東区

実施内容

活動名称 皿倉観望会

取組内容

目的・趣旨
活動内容
成果

日本で最初に公害防止に立ち上がった北九州市の星空のすばらしさを多くの方に紹介するため。

四季折々に観測できる惑星や星の説明をしながら天体観測会を実施。

街中にある山の山頂で見る星空と夜景のすばらしさを伝えることができた。



合同会社Discover Walks 若松区

実施内容

活動名称 プライベートガイドツアー
「響灘、海ゴミは語る ～“現場”であなたは何を惟う～」

取組内容

目的・趣旨

名称に変遷はありますが、同様のプログラムを16年間、オーダーメイドで続けています。報道や伝聞でこの問題や様相を知識として頭では理解していても、実際に“現場(フィールド)”で自身の五感で体感したことがある方々はまだ圧倒的少数です。日々の暮らしの中で、小さなことから行動を変えていく、行動を起していくためには、現場での実体験が不可欠だからです。また、一般的な日時限定のクリーンアップイベントでは多くの賛同・参加を見受けませんが、「今日は良いことしたね。」という満足で終わってしまいがちです。それらのモノの背景や自然・私たちの日常との関連はどうなっているのか、拾い集めたモノの後処理はどうなっているのか…等々、イベントではなかなか触れられない“背景にあるコト”を実体験とインタープリテーションで“識り”そして各々ご自身で“惟う”きっかけとして、このプログラムを提案し続けています。

活動内容

戸畑から若戸渡船で若松へ渡り、響灘エリアへ。産業と暮らしの相関やギャップも感じていただけます。その後、自然海浜にて、漂着ゴミの様々なトピックスを通じて、ミクロ・マクロの課題を体感いただけます。また、環境省委嘱の自然公園指導員として、自然海浜の定点モニタリングと出来る限りの漂着物回収を毎月数回の頻度で継続しています。



成果

「参加者数や回数が成果」とは一切考えておりません。これまでの16年間のプログラム提案・提供を通じて、参加された方々が、表面的な理解ではなく本質的な理解を深め、何らかのアクションや行動変容に繋がっていることを願って続けています。また、参加費の約半分はこの問題に取り組むNGOや市民団体に寄付しています。そのサイクルを回すために、あえて「それなりの対価」の有料プログラム(お金を取るのか!と思われるかもしれませんが。)しております。

今後の展開

地味に地道に継続いたします。弊社はイノベーターでもゲームチェンジャーでもありませんので、社会的な変化は起こせませんが、参加された方の心に響き、価値観や行動の小さな変化のきっかけとなるような活動でありたい、と願っています。プログラムの運行においては、環境や社会に対してより一層 responsible/sustainable であるように、2022年6月以降、プログラム中の移動部分も自転車や公共交通(路線バス、筑豊線のBEC)に変更し、プログラムのライフサイクル全体で一層高いレベルでの low emission & low carbon化をはかったツアー「若松北海岸 Cycle&Walk」も始めています。

戦略基本目標 2 地球規模の視野を持って行動できるような高い市民環境力の醸成

北九州市立市丸小学校 小倉南区

実施内容

活動名称 地域の人・もの・ことのかかわりを通して主体的に学ぶ環境教育

取組内容

目的・趣旨

市丸(東谷)地区の自然豊かな環境を生かした体験活動を全学年を通して本校独自の教育課程を編成し、ふるさと(市丸)への愛着と誇り(シビックプライド)をもち、主体的に取り組む児童の育成を目的としている。

活動内容

地域環境を「人・もの・こと」の視点でとらえて開発した地域教材の検証・見直しを行い、児童が主体的に取り組む学習展開を工夫して以下の実践を行った。

- 1年生→「やさいをそでよう」
- 2年生→「もっと なかよし 市丸たんけん」
- 3年生→「小森川を調べよう」
- 4年生→「平尾台探検」
- 5年生→「チャレンジ!小倉織」
- 6年生→「地域の宝、ガシヤモクを守ろう」



成果

地域の人・もの・ことに触れることで、課題を自らのものとし、生き生きと活動する児童の姿を見ることができた。また、新たな地域教材を発掘し、児童に体験活動を通して、学習展開を工夫することで、主体的に学習活動に取り組む児童の姿が見られた。

課題

今後も、よりよい環境の創造や保全に主体的に取り組む態度や能力の育成を図ること。

今後の展開

来年度もこれらの教材を児童の実態をもとに見直し、教育課程に位置付けると共に、故郷「市丸」のよさを語る事ができる児童を育てていきたい。

北九州インタープリテーション研究会 小倉南区

実施内容

活動名称 北九州の身近な自然を伝えるインタープリテーション

取組内容

目的・趣旨

布絵シアターで、コロナ禍で自然との触れ合いが少なかった子どもたちの活動を支援

活動内容

SDGs 推進のための SDGs 図書館大作戦や SDGs アート大作戦といった活動を推進しています。またジオ&バイオ研究会のメンバーとしてジオかるたやすごろくの制作なども行いました。



公益財団法人 北九州活性化協議会もったいない総研 小倉北区

実施内容

活動名称 リサイクルトイレトーパー「北九州紙えこっパー」による「もったいない」を未来に引き継ぐ事業

取組内容

目的・趣旨

牛乳パック等の古紙リサイクルによる再生トイレトーパー「北九州紙えこっパー(以下、「えこっパー」)」の開発、製造、販売・普及を通じて森林資源の保全、都市ごみの減量、製造エネルギーの節減を通じて社会に貢献し、SDGs達成に向けた地域住民の価値観の形成を通じて持続可能な市民参加型の地域循環型社会を目指します。

活動内容

- ①「えこっパー」の普及促進活動 (PR活動)
北九州市内の各施設、北九州市内の百貨店、空港、ホテル等の大型施設および地元有力企業、金融機関等へ設置いただき、幅広く普及促進活動 (PR活動) を実施しました。
- ②環境教育への貢献
「北九州の企業人による小学校応援団」と連携し、牛乳パックリサイクルを活用した小学校での出前授業を実施しました。



成果

「えこっパー」販売数(1パック：6ロール)
令和2年度：150,152パック
令和3年度：122,216パック(令和4年1月末現在)
※販売開始からの累計販売数：3,799,384パック
(平成13年4月～令和4年1月)

NPO法人 北九州国際自然大学校 小倉南区

実施内容

活動名称 環境戦士 アースマン

取組内容

目的・趣旨

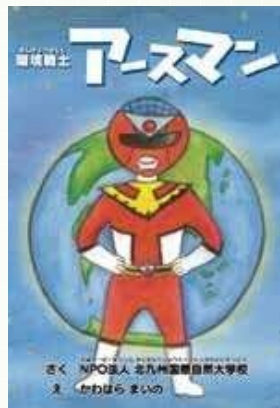
次の世代の子どもたちに解り易く楽しく、環境を学んでいただきたい。

活動内容

環境戦士アースマンというローカルヒーローと、地球を汚して、自分たちの住処にすることをたくらんでいる悪の軍団デスゾールの首領キドラー将軍と怪人たちのオリジナルキャラクターショーを地域や幼稚園・保育園で、行なっています。
絵本の販売やアースマンのテーマ曲のCDの販売も行なっています。

成果

北九州青年会議所や小倉南区社会福祉協議会プチボなどの団体とのコラボレーションや地域からの要請に答えています。
「愛・地球博」といった全国規模のイベントにも出演したり、福岡の海の中道でのイベントは、毎年の恒例となっています。



今後の展開

現在も大学生たちとコラボレーションしていますが、更に輪を広げていきたいと思っています。

北九州ほたるの会

小倉北区

実施内容

活動名称 2022年6月8日～12日 山田ほたる祭り

取組内容

目的・趣旨

北九州ほたるの会は北九州の自然環境を守り、ホタルなど身近な生き物の生息を図ることを目的として平成7年9月にホタルに興味を持つ市民によって結成された。年1回の総会、ホタル観察会や研修会の開催、ホタル飛翔調査、情報交換誌の発行などの活動を行っている。全国ホタル研究団体会員でもある。

活動内容

北九州ほたるの会アドバイザー3人、山田緑地管理事務所2人、市ほたる館1人のメンバーで、川周辺の環境について視察を実施しました。現状把握、現状分析、対策案を話し合いました。

成果

山田緑地(とんぼの池)から流れた水が小熊野川の源流です。自然たっぷりの森林に囲まれた仮称・小熊野川源流には、ゲンジボタルの飛翔が見られます。川の両側の樹木の枝を景観を損なわないように配慮してカット、川の中に太陽光線の照射を多くして、カワニナの増殖に役立つことに成功。
(森のゲート前～野草広場)6月16日(355匹)飛翔。
(芝生広場)6月9日(297匹)飛翔。20数年前から飛翔を観察してきましたが、最高の飛翔数です。



今後の展開

北九州ほたるの会、山田緑地管理事務所、市ほたる館、市役所水環境課ほたる係の協力によって、ほたるの定着を目標に安定した飛翔が継続できるように活動していきたい。

福岡県立東筑高等学校生物部

八幡西区

実施内容

活動名称 動物の研究

取組内容

目的・趣旨

生物や自然環境を理解することを目的に、身近な生物の形態や行動のしくみを研究している。

活動内容

令和4年度は、3種類の動物、シミ・ミミズ・ミルワームについて研究した。本などの紙を食害するシミ、良い土づくりの味方であるミミズ、飼育動物の生餌としてよく知られるミルワーム。身近な生き物であるが、あまり注目されていない生物を対象に、環境が動物の行動に与える影響や学習能力について、実験により明らかにしようと試みた。

成果

シミの研究発表を第46回全国高等学校総合文化祭東京大会に行った。読売新聞社主催第66回日本学生科学賞福岡県審査に2本のレポート提出し、ミミズの研究は県審査最優秀賞、ミルワームの研究は県審査優秀賞を得た。



今後の展開

動物の行動と自然環境の関わりについて研究をより深めていきたい。

森の育ち場

小倉南区

実施内容

活動名称 森の育ち場 未就園児の部 みちくさ

取組内容

目的・趣旨

乳幼児期は人間の土台を築く大事な時期である。その時期に親子で自然の中で集う。自然観察や自然体験活動を中心に、子どもそれぞれの興味関心を大切に、虫探しや植物の観察などをゆっくりと行う時間を保証する。これらの活動を通して子ども達の感性を伸ばし、自然に興味を持ち、自然を大切に思う気持ちを醸成し、将来的に自然環境を保全する人材を育成することを目的とする。

活動内容

乳幼児及びその保護者向け自然観察会を月に3回程度行う。乳幼児対象のため、生き物の名前など知識の方ではなく、自然を五感をフルに使って「感じる」ことに重きを置く。子どもそれぞれの興味関心を大切に、虫探しや植物の観察などをそれぞれのペースで行う時間を保証する。「どこまで行く」といった目的地ではなく、文字通り「みちくさ」を自然の中で楽しみ、季節の変化、自然の面白さを感じ学びを深める時間とする。



成果

新型コロナウイルスの影響により引きこもり、他人と接触が制限されている影響は未就園児を抱える家庭にも顕著であり孤立化が進んでいる。このような状況下で自然の中で人と接する機会を設けることで、自然が持つ癒しなどの効果をよりはっきりと感じることができた。

今後の展開

今後も継続して乳幼児とその保護者が気軽の自然と親しむ機会を提供する。